

募集要項（2024年度）一般社団法人 日本ガス協会
「ガス体エネルギーのカーボンニュートラル化と事業高度化に資する研究助成制度」

1. 研究助成制度の目的

日本の産業・民生部門のエネルギー消費量の約6割は熱需要であり、熱を供給するガス体エネルギーのカーボンニュートラル化と都市ガス事業の高度化が期待できる優れた研究を支援することを目的としています。

2. 研究助成の趣旨

都市ガス事業を取り巻く環境は近年大きく変化し、カーボンニュートラル社会の実現、エネルギーセキュリティの確保など、社会的課題の解決に向け、これまで以上に革新的技術に繋がる基礎的研究への期待が高まっており、産学が連携し幅広い分野で研究に取り組むことがますます重要になると考えております。日本ガス協会では、都市ガス事業の持続的発展に不可欠なカーボンニュートラル社会の実現に向け、都市ガス事業の発展を先導する可能性のある革新的技術、およびその前段となる基礎的研究の推進を目的とし、研究助成を行っています。

3. 研究助成概要

(1) 申請者の資格

- ・大学または機関に所属する若手研究者であり、常勤で所属機関に正式に雇用されている方。（日本に居住している方に限ります、国籍は問いません）
- ・営利企業等関係者は対象外
- ・年齢制限はありませんが、若手研究者の積極的応募を期待します。
- ・助成期間中、応募テーマに関する研究を継続できる方とします。

(2) 対象となる研究分野

① カーボンニュートラル化に資する研究分野（基礎研究）

対象エネルギー：e-methane（合成メタン）、水素、バイオガスなど

- (ア) メタン合成技術（触媒、サバティエ、バイオリクター、共電解、光還元等）、
- (イ) CO₂分離・回収技術、(ウ) CO₂利用技術、(エ) 水素製造・利用技術

② ガス事業高度化に資する研究分野（応用研究）

対象エネルギー：天然ガス、e-methane（合成メタン）、水素、バイオガスなど

②-1：利用技術に関する研究分野

- (ア) コージェネ技術（燃料電池含む）、(イ) 燃焼技術、
- (ウ) 排熱利用技術、(エ) 空調技術

②-2：エネルギーシステムに関する研究分野

- (ア) エネルギーの地産地消、(イ) 分散型電源を活用したスマートエネルギーネットワーク
- (ウ) エネルギー貯蔵

②-3：製造、供給におけるエネルギーセキュリティ、レジリエンスに関する研究分野

- (ア) 防災・減災技術、(イ) 災害シミュレーション

③その他

- ①～②以外でガスエネルギーに関するもの

(3) 助成金額

- ・100万円/件、最大3件 ※2年助成の場合は200万円/件（100万円/年×2）

(4) 助成金の使途

- ・真に研究に必要な資金であれば、特に使途の制限はなし。

(5) 助成期間

- ・2024年10月～2025年9月末（原則1年間、最大2年間）

<留意点と補足>

- ・助成期間は原則1年間としますが、2年間の研究助成を希望する場合は、申請書の「希望する助成期間」の項目について、2年間を選択してください。なお、2年助成希望者は1年助成と併願することとなり、2年助成対象とならなかった場合においても、1年助成の対象となる場合がございます。
- ・2年助成を希望する場合は、申請書の「現状技術レベルと助成後の目標技術レベル」の項目について、1年助成における記載に加えて、2年助成を希望する理由、1年目のマイルストーン（中間目標）を追加し、「上記目標までの研究計画・方法の概要」の項目には、1年助成における記載に加えて、2年間の内容についても記載してください。
- ・2年助成については、当協会の選考委員が適格と判断した場合に限り行うこととします。
- ・なお、2年助成として研究を開始した場合であっても、その期間末日に至るまでの助成を約束するわけではありません。

(6) 助成対象者の責務

- ・助成テーマに関する進捗状況等を中間報告頂きます。（2025年3月-4月頃に開催予定）
- ・助成テーマに関する成果を報告会で発表頂きます。（2025年10-11月頃に開催予定）
- ・助成期間末日までに成果報告書の提出および当協会ホームページで紹介するための原稿を作成頂きます。
- ・委員会、学会、学術雑誌、出版、論文その他の方法により研究成果の発表をお願いする場合があります。また、本制度を活用して得られた結果を論文や学会で発表する際は、本助成制度名を明記頂きます。

<留意点と補足>

- ・中間報告は研究テーマの進捗状況確認と成果報告時に織り込んでいただきたい内容等の意見交換を目的に行います。また、日本ガス協会からも都市ガス業界のカーボンニュートラルに向けた取り組みについてご説明させていただく予定です。
- ・2年助成者の中間報告は、1年目は1年目のマイルストーン（中間目標）に対する進捗、目標の達成見込みについて報告頂きます。なお、研究進捗の大幅な遅れ、1年目のマイルストーン（中間目標）達成が明らかに困難なことが想定される場合等においては、2年目以降の助成を中止する可能性があります。2年目はボツ1の中間報告を行います。
- ・報告会は都内を予定しておりますが、参加のための交通費は助成金より捻出いただきます。
- ・2年助成者の成果報告は、1年目は1年間の達成状況等の報告、2年目に最終の成果報告を発表頂きます。

(7) 助成対象者の決定

- ・2024年9月初旬予定

(8) 助成金の交付時期

- ・助成対象者の決定後、速やかに交付いたします。

<留意点と補足>

- ・手続きの関係上、助成決定後2ヶ月以上かかる可能性があります。研究テーマに影響がある場合は、中間報告の日程等、個別に相談させていただきます。

3. 選考について

(1) 選考方法

- ・当協会の選考委員が、申請書の内容に基づいて審査のうえ決定します。また、必要に応じて面談を行う場合があります。

- (2) 主な選考基準
- ・研究助成の趣旨と合致し助成するにふさわしいもの
 - ・ガス事業に関する社会的課題への適合性
 - ・技術革新性、独創性、新規性の高さ
 - ・研究計画の妥当性
- (3) 選考結果の通知
- ・2024年9月初旬に申請者へ通知します。

4. 応募手続

- (1) 応募方法
- ・当協会所定の申請書に必要事項を記入し、PDFデータを事務局（josei@gas.or.jp）まで電子メールでご提出ください。なお、ページ数の制限は設けておりませんが、研究テーマに関連する文献を除き、3ページ前後を目安としてください。
- (3) 応募締切日
- ・2024年5月10日（金）

5. その他

- (1) 個人情報等の取扱いについて
- ・個人情報は選考など本助成制度で必要な際に利用致します。
 - ・申請時に得た個人情報は、法令等の定めによる場合を除き、予め本人の同意を得ることなく第三者に提供いたしません。
 - ・本研究助成制度の履行の過程で知り得た業務上、技術上の情報等について、覚書にて守秘義務に関する合意をいただきます。
- (2) 選考委員会での審査内容については、いかなるお問い合わせにも応じられません。
- (3) 申請書は返却いたしません。
- (4) 当協会の事業内容についてはホームページ（<https://www.gas.or.jp/gijutsu>）をご覧ください。

【連絡先】

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-12
一般社団法人日本ガス協会 普及部 技術開発グループ 研究助成制度担当
Tel : 03-3502-0113 Fax : 03-3502-3676
E-mail : josei@gas.or.jp

<様式> 2024年度

「ガス体エネルギーのカーボンニュートラル化と事業高度化に資する研究助成制度」申請書

年 月 日

研究題目			
研究分野		希望する 助成期間	1年間 ・ 2年間
申請者	(フリガナ) 氏名	生年月日/ 年齢	年 月 日 / 歳
	所属機関 職名	最終学校名 卒業年/学位	
	所属機関 所在地	電話	
		E-mail	
共同研究者 氏名	所属機関 職名		
研究概要 (目的・内容、目標等を具体的に。図表が必要な場合等は、別途 A4 で一枚までの補足資料を添付可能)			
現状技術レベルと助成後の目標技術レベル ※2年助成希望者は1年助成における記載に加えて、2年助成を希望する理由、1年目のマイルストーン(中間目標)を追記ください。			
上記目標までの研究計画・方法の概要 ※2年助成希望者は1年助成における記載に加えて、2年間の内容についても記載してください。			

(裏面につづく)

当該研究の取り組み状況

当該研究の特色・独創的な点

当該研究がガス事業の課題に対して期待される効果（具体的にお示してください）

助成金の使用用途（使用用途の概要について記載）

研究業績および直近1年間の論文投稿数

関連研究に対する他所からの助成金, 補助金の有無

研究テーマに関連する文献（当該研究テーマに関連する文献を、本申請書と併せて提出ください）

※必要に応じ各項目の行数を変更ください。ページ数の制限は設けておりませんが、研究テーマに関連する文献を除き、3ページ前後を目安としてください。

※ご記載頂いた個人情報、本件以外の用途で利用することはありません。